



三菱UFJリース

2010 年 3 月期決算概要

(証券コード : 8 5 9 3)

決算発表日 : 2010 年 5 月 12 日

お問い合わせ先

広報 I R 部

TEL : 03-6865-3002、FAX:03-6895-5306

当社ホームページアドレス : <http://www.lf.mufg.jp/> (日本語)

<http://www.lf.mufg.jp/english/> (英語)

※ 本資料には現時点での将来予測数値が含まれますが、将来の様々な要因により変動することがありますのでご注意ください。

Value Integrator

目次

1. 2010 年 3 月期決算要約 -----	3
2. 連結決算主要項目の推移 -----	4
(1) 損益計算書 関連項目 -----	4
(2) 貸借対照表 関連項目 -----	6
3. 資金調達の状況 -----	8
4. 貸倒関連費用等 -----	9
5. 主要連結構成会社の決算概要 -----	10
6. 営業状況（契約実行高） -----	12
取引種類別内訳 -----	12
取引種類別構成比 -----	12
物件別（リース・割賦）、取引形態別（金融・その他）内訳 -----	13
7. 営業の取組み -----	14
(1) リース関連（オペレーティングリース） -----	14
(2) その他関連（中古機器の在庫販売） -----	14
(3) リース関連（シンフォニー） -----	15
(4) リース関連（E S C O 事業） -----	16
(5) リース関連（排出権関連ビジネス） -----	17
(6) リース関連（ e-Leasing Direct ） -----	18
(7) リース関連（オートリース） -----	19
(8) 金融関連（ファクタリング） -----	19
(9) 金融関連（不動産関連ファイナンス） -----	20
(10) 金融関連（P F I 事業） -----	22
8. 2011 年 3 月期決算予想 -----	23
9. 中期経営計画における施策・戦略の実施状況 -----	24
10. ニュースリリース -----	27

1. 2010 年 3 月期決算要約

(金額単位：億円)

	2010/3 期	前期比 (増減率)	2009/3 期
売上高	7,470	－8.7%	8,186
売上総利益	1,095	＋4.6%	1,047
営業利益	258	－4.0%	268
経常利益	258	－1.8%	262
当期純利益	207	＋190.1%	71
契約実行高	13,015	－23.7%	17,051

(金額単位：億円)

	2010/3 期	前期末比 (増減率)	2009/3 期
純資産	3,668	＋7.1%	3,426
総資産	38,851	－0.6%	39,090

- 外部環境は引き続き予断を許さない状況が続いておりますが、当期は中期経営計画“Vision2010”で掲げた様々な戦略を着実に推進するとともに、持続的な成長に向けた基盤作りにも注力いたしました。
- 連結子会社であったセントラルオートリースが 2009 年 2 月より非連結となった影響などにより、売上高は前期比 8.7%減少の 7,470 億円となりました。一方で、バリューチェーン上の提供機能拡大により幅広い商品サービスを提供するとともに、低利安定的な資金調達を行った結果、売上総利益は前期比 4.6%増加の 1,095 億円となりました。
- 販売費及び一般管理費において、貸倒関連費用（一般貸倒引当金を含む）を 390 億円計上したこと等により、営業利益は前期比 4.0%減少の 258 億円、経常利益は前期比 1.8%減少の 258 億円となりました。
- 一方、昨年 7 月に子会社化した御幸ビルディングに関する「負ののれん」等を特別利益に計上したことや、特別損失に計上した保有有価証券の評価損が減少したこと等により、当期純利益は前期比 190.1%増加の 207 億円となりました。
- 契約実行高は、前期比 23.7%の減少となりました。不動産関連取引等について優良案件に絞って慎重な取り組みを行った結果、金融・その他取引は前期比 30.7%減少しました。リース取引については、業界全体の取扱高が前期比 19.0%の減少となる中、重点戦略分野として注力しているオペレーティングリースが前期比 59.9%増加したこと等により、リース契約実行高は前期比 8.1%の減少となりました。

2. 連結決算主要項目の推移

(1) 損益計算書 関連項目

(金額単位：百万円)

	連結				
	2006/3期 2005年度	2007/3期 2006年度	2008/3期 2007年度	2009/3期 2008年度	2010/3期 2009年度
1 売上高	524,157	517,429	987,056	818,618	747,043
	-2.4%	-1.3%	+90.8%	-17.1%	-8.7%
2 賃貸料収入	380,596	359,973	763,991	613,716	558,615
	-1.8%	-5.4%	+112.2%	-19.7%	-9.0%
3 割賦売上高	117,831	118,460	164,293	140,159	122,615
	-8.8%	+0.5%	+38.7%	-14.7%	-12.5%
4 営業貸付収入	12,728	20,522	37,176	38,393	39,048
	+17.4%	+61.2%	+81.2%	+3.3%	+1.7%
5 その他の売上高	13,000	18,473	21,596	26,349	26,764
	+33.4%	+42.1%	+16.9%	+22.0%	+1.6%
6 売上原価	471,951	460,671	883,025	713,903	637,474
	-2.8%	-2.4%	+91.7%	-19.2%	-10.7%
7 売上原価 / 売上高 (売上高売上原価率)	90.0%	89.0%	89.5%	87.2%	85.3%
	-0.4P	-1.0P	+0.5P	-2.3P	-1.9P
8 賃貸原価	341,595	322,205	684,594	539,425	484,581
	-1.9%	-5.7%	+112.5%	-21.2%	-10.2%
9 割賦原価	111,283	111,248	152,172	129,784	112,819
	-8.7%	-0.0%	+36.8%	-14.7%	-13.1%
10 資金原価	9,596	14,324	34,608	34,533	26,916
	-1.4%	+49.3%	+141.6%	-0.2%	-22.1%
11 その他の原価	9,474	12,892	11,648	10,160	13,157
	+58.9%	+36.1%	-9.6%	-12.8%	+29.5%
12 売上総利益	52,206	56,758	104,030	104,715	109,569
	+1.5%	+8.7%	+83.3%	+0.7%	+4.6%
13 売上総利益 / 売上高 (売上高売上総利益率)	10.0%	11.0%	10.5%	12.8%	14.7%
	+0.4P	+1.0P	-0.5P	+2.3P	+1.9P
14 従業員数	950	1,029	2,209	2,122	2,219
15 一人当たり売上総利益	55.0	55.2	47.0	49.3	49.3
	+1.0%	+0.4%	-14.9%	+4.8%	+0.0%
16 販売費及び一般管理費	23,389	23,825	53,307	77,829	83,755
	+7.9%	+1.9%	+123.7%	+46.0%	+7.6%
17 人件費	9,762	10,527	21,439	21,444	21,478
	+5.6%	+7.8%	+103.7%	+0.0%	+0.2%
18 物件費	9,865	11,567	27,627	24,594	23,193
	-2.2%	+17.3%	+138.8%	-11.0%	-5.7%
19 貸倒関連費用 (一般貸倒引当金を含む)	3,761	1,730	4,241	31,790	39,083
	+60.0%	-54.0%	+145.1%	+649.6%	+22.9%
20 OHR	37.6%	38.9%	47.2%	44.0%	40.8%
	-0.0P	+1.3P	+8.3P	-3.2P	-3.2P
21 営業利益	28,816	32,932	50,723	26,885	25,813
	-3.1%	+14.3%	+54.0%	-47.0%	-4.0%
22 営業利益 / 売上高 (売上高営業利益率)	5.5%	6.4%	5.1%	3.3%	3.5%
	-0.0P	+0.9P	-1.3P	-1.8P	+0.2P
23 経常利益	29,597	33,508	51,705	26,282	25,821
	-2.1%	+13.2%	+54.3%	-49.2%	-1.8%
24 特別利益	1,472	3,497	4,573	1,890	14,150
	+27.7%	+137.6%	+30.8%	-58.7%	+648.3%
25 特別損失	441	310	2,460	10,860	1,827
	+437.8%	-29.7%	+691.5%	+341.4%	-83.2%
26 純利益	21,135	22,064	30,245	7,145	20,727
	+13.4%	+4.4%	+37.1%	-76.4%	+190.1%

※下段の%、P(ポイント)は前期比を掲載

1. その他の売上高について（5 行目）
主に物件販売による収入、有価証券の収入、各種手数料収入などが含まれています。
2. その他の売上原価について（11 行目）
物件販売における仕入コストや各種支払手数料が含まれています。
3. 貸倒関連費用（19 行目）
貸倒関連費用の内訳は以下の通りです。

（金額単位：億円）

	個別引当金	一般引当金	合計
単体	240	60	300
連結子会社	94	-4	90
合計	334	56	390

4. 特別利益（24 行目）
御幸ビルディング（昨年 7 月に子会社化）の株式取得等により発生した「負ののれん」等 123 億円（「段階取得に係る差益」33 億円、「負ののれん発生益」90 億円）を、新連結会計基準（「企業結合に関する会計基準」等）の早期適用に伴い、特別利益に一括計上したこと等により、当期の特別利益は 141 億円となりました。
5. 特別損失（25 行目）
投資有価証券評価損 4 億円、在外子会社清算に係る損失 6 億円、グループ会社のシステム統合費用 5 億円を計上したこと等により、当期の特別損失は 18 億円となりました。
6. グループ会社数
当期末時点における連結子会社数、持分法適用関連会社数は以下の通りです。

連結子会社数	持分法適用関連会社数
86	6

(2) 貸借対照表 関連項目

(金額単位:百万円)

		連結				
		2006/3期 2005年度	2007/3期 2006年度	2008/3期 2007年度	2009/3期 2008年度	2010/3期 2009年度
1	純資産合計	130,187 +23.4%	154,267 +18.5%	312,352 +102.5%	342,633 +9.7%	366,891 +7.1%
2	総資産額	1,825,087 +3.7%	2,380,467 +30.4%	3,965,891 +66.6%	3,909,077 -1.4%	3,885,161 -0.6%
3	営業資産残高	1,652,698 +3.6%	2,185,763 +32.3%	3,630,737 +66.1%	3,497,071 -3.7%	3,517,982 +0.6%
4	内貸貸事業	830,630 -4.5%	820,541 -1.2%	1,794,936 +118.8%	1,565,325 -12.8%	1,677,155 +7.1%
5	内割賦販売事業	298,793 +5.0%	288,129 -3.6%	431,143 +49.6%	368,467 -14.5%	297,051 -19.4%
6	内貸付事業	459,531 +25.2%	901,858 +96.3%	1,145,939 +27.1%	1,227,716 +7.1%	1,222,770 -0.4%
7	内その他の事業	63,742 -13.4%	175,233 +174.9%	258,719 +47.6%	335,562 +29.7%	321,005 -4.3%
8	破産更生債権等	9,314 +3.4%	4,474 -52.0%	6,382 +42.6%	47,983 +651.8%	46,351 -3.4%
9	貸倒引当金	1,451	1,043	2,014	3,694	8,487
10	ネット破産更生債権等	7,862 +19.5%	3,431 -56.4%	4,368 +27.3%	44,288 +913.9%	37,863 -14.5%
11	自己資本比率	7.1% +1.1P	6.2% -0.9P	7.5% +1.3P	8.4% +0.9P	9.1% +0.7P
12	ROE…株主資本純利益率	17.9% -1.3P	15.9% -2.0P	13.6% -2.3P	2.3% -11.3P	6.1% +3.8P
13	ROA…総資産純利益率	1.2% +0.1P	1.0% -0.2P	1.0% +0.0P	0.2% -0.8P	0.5% +0.3P
14	有利子負債	1,520,766 +1.5%	2,033,869 +33.7%	3,314,673 +63.0%	3,190,431 -3.7%	3,148,926 -1.3%
15	間接調達	813,827 +17.6%	1,177,464 +44.7%	1,765,716 +50.0%	1,842,291 +4.3%	1,740,993 -5.5%
16	直接調達	706,939 -12.3%	856,404 +21.1%	1,548,957 +80.9%	1,348,139 -13.0%	1,407,932 +4.4%
17	内CP	456,300 -4.7%	552,300 +21.0%	900,800 +63.1%	892,900 -0.9%	872,400 -2.3%
18	内リース債権流動化	81,639 -36.7%	63,004 -22.8%	288,108 +357.3%	162,959 -43.4%	152,256 -6.6%
19	内社債	169,000 -14.7%	241,100 +42.7%	360,049 +49.3%	292,280 -18.8%	383,276 +31.1%
20	直接調達比率	46.5% -7.3P	42.1% -4.4P	46.7% +4.6P	42.3% -4.4P	44.7% +2.4P

※下段の%、P(ポイント)は前期末比を掲載

1. 内賃貸事業について(4行目)

流動資産の「リース債権およびリース投資資産」と有形固定資産及び無形固定資産の「賃貸資産」の合計を表示しています。

2. 内割賦販売事業(5行目)

割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しています。

3. 内貸付事業の内訳(6行目)

(金額単位:億円)

	営業貸付金			その他営業貸付金※ ³	合計
	一般貸付金	リースみなし取引等※ ¹	子会社宛貸付金※ ²		
2006/3 期末	2,898	1,107	85	505	4,595
2007/3 期末	6,718	964	482	853	9,018
2008/3 期末	9,398	1,161	86	814	11,459
2009/3 期末	9,977	1,368	208	724	12,277
2010/3 期末	9,725	1,643	96	763	12,227

※1:リースみなし取引とは、お客様との間ではリース契約取引ですが、会計上は貸付金として処理している取引です。

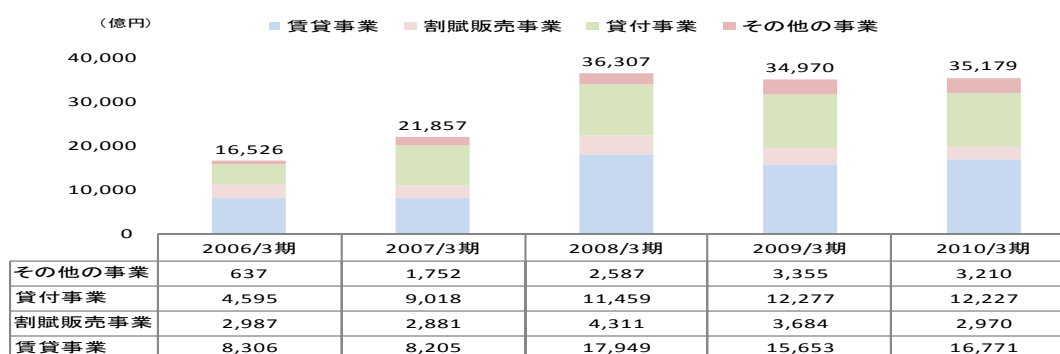
※2:主に非連結子会社向け貸付金です。

※3:主にファクタリング債権です。

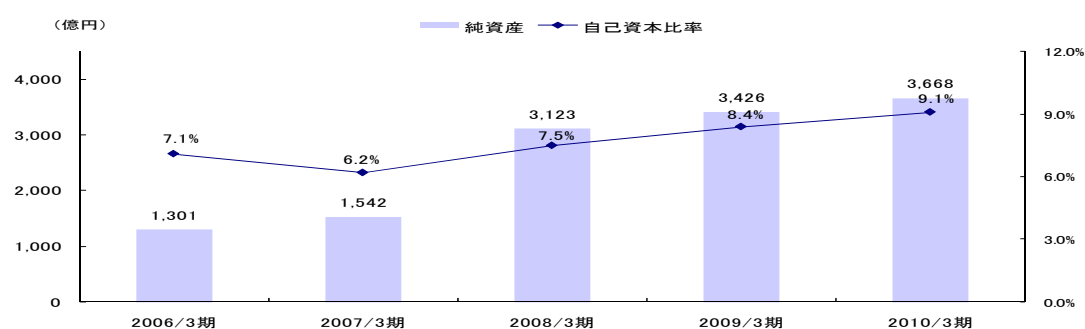
4. 内その他の事業(7行目)

営業有価証券、営業出資金などが含まれています。

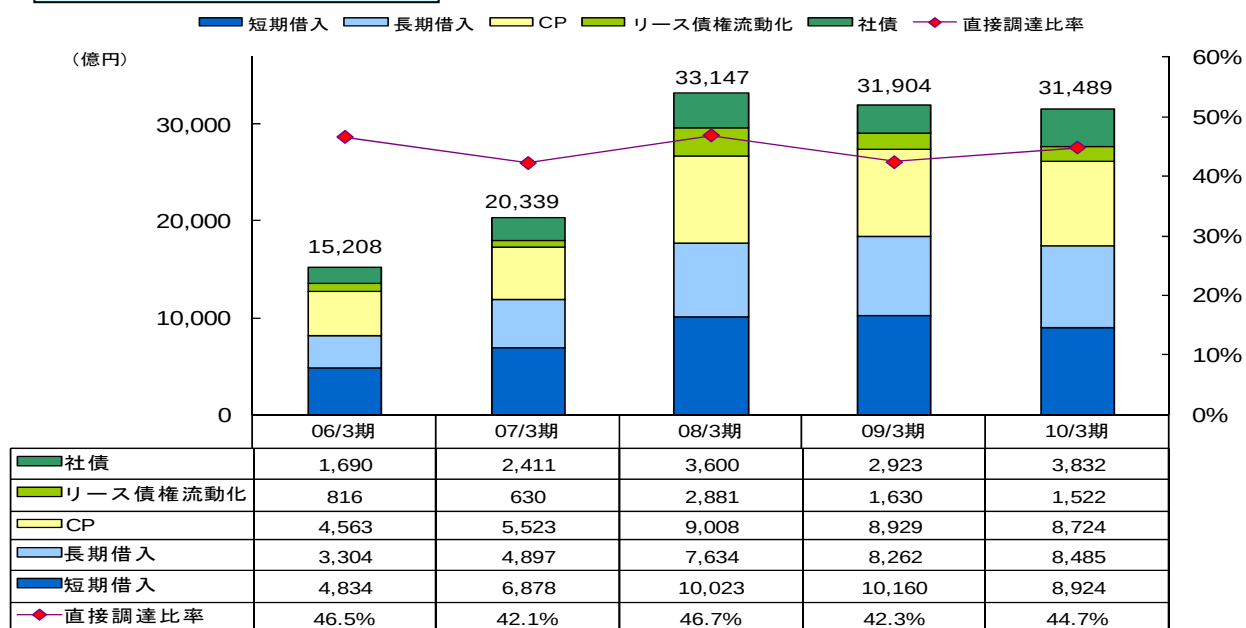
◎営業資産残高の推移



◎純資産と自己資本比率の推移

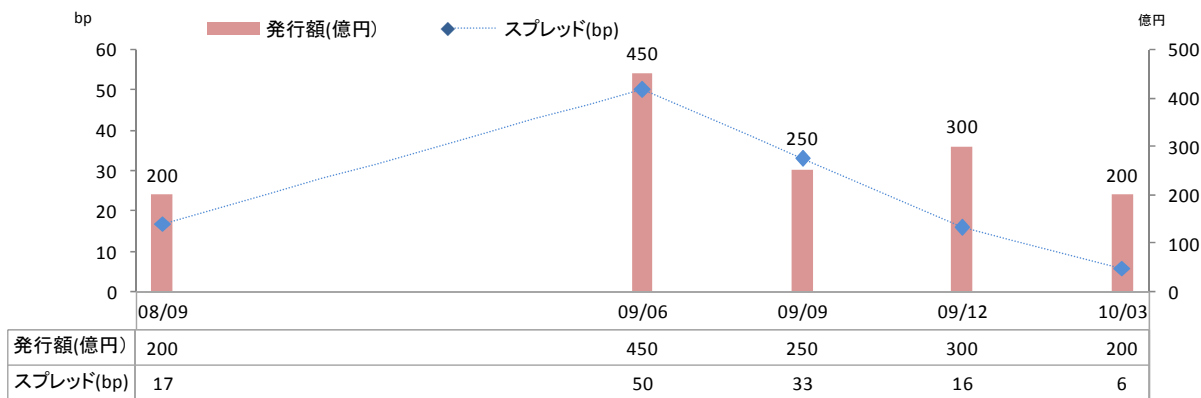


3. 資金調達の状況



- 連結ベースの有利子負債残高は3兆1,489億円となり、前期末比415億円減少いたしました。
- 金利変動リスクに対しては、主に金利スワップによるヘッジオペレーションを行っています。当期末の金利スワップの想定元本(固定化スワップ)は4,961億円です。

◎最近の社債の発行状況



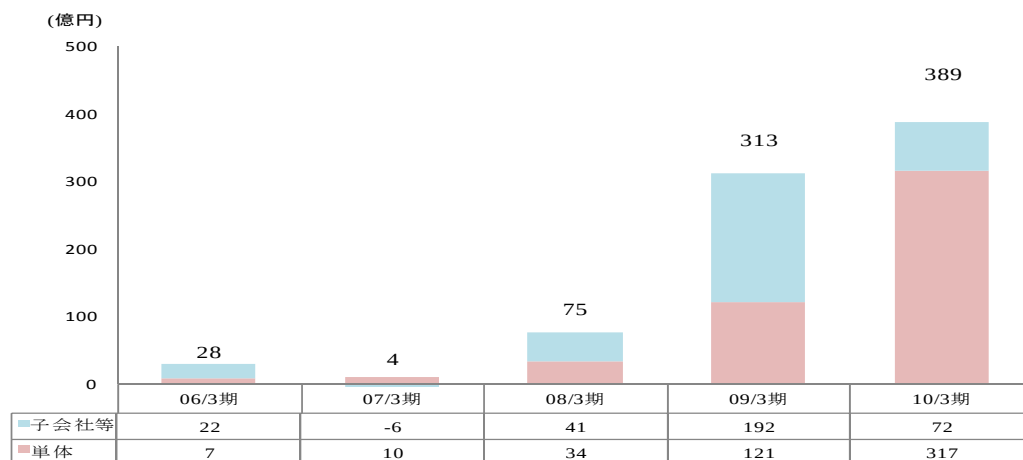
※発行した社債の利率は、対応する期間におけるスワップレートに上記スプレッド(bp)を加えた値となります。

◎外部格付

格付機関		2010/5/12現在
J C R (日本格付研究所)	(長期)	AA-
	(短期)	J-1+
R & I (格付投資情報センター)	(長期)	A+
	(短期)	a-1
M o o d y ' s	(長期)	A1
	(短期)	P-1

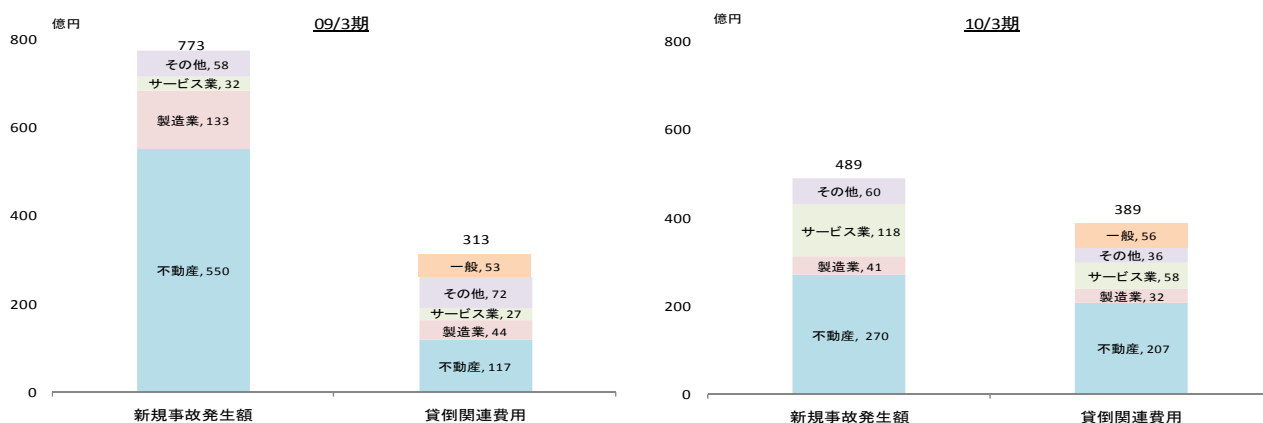
4. 貸倒関連費用等

1. 総貸倒関連費用の推移



上記金額は、連結ベースの総貸倒関連費用です。当該金額には、売上原価処理分、販売費および一般管理費計上分、特別損益計上分が含まれています。

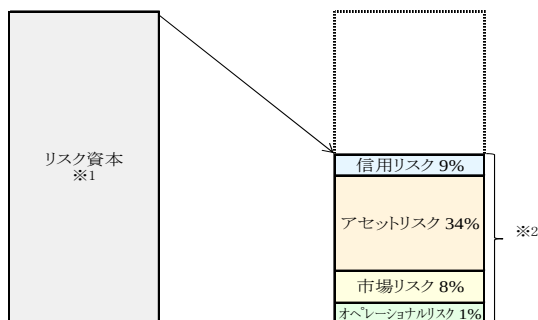
2. 新規事故発生額と総貸倒関連費用の前期比較（業種別）



当期の新規事故発生額は前期比 36.7%減少の 489 億円となりました。総貸倒関連費用については、特に不動産関連ファイナンスの対象物件の評価を、現状の市況を反映させ見直したことなどにより、前期比 24.3%増加の 389 億円となりました。

3. 統合リスク管理

リスク量（連結／2010 年 3 月末）



※1 リスク資本：株主資本－のれん
 ※2 リスク資本に対する各リスク量の比率

様々なリスクを計量化することにより、統合的なリスク管理を行っています。左表は、2010 年 3 月末時点の各種リスクについて、最大損失額を VaR (Value at Risk) 等で算出したリスク量です。信用・市場・オペレーショナルなどのリスクに留まらず、アセットリスクまで算出するなど、厳格なリスクマネジメントを行っています。

5. 主要連結構成会社の決算概要

金額単位: 百万円

損益項目	三菱UFJリース(MUL) (単体)		ディー・エフ・エル・リース (DFL) MUL持分割合: 95%	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	524,186	-7.7%	21,304	-7.1%
売上総利益	73,511	+5.4%	2,239	-5.8%
営業利益	15,884	-48.3%	631	-
経常利益	17,426	-44.4%	638	-
純利益	7,303	-47.3%	838	-
資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	2,885,119	-0.5%	52,275	-17.2%
総資産	3,238,022	-1.5%	54,199	-18.3%
純資産	327,307	+2.4%	5,822	+16.8%

損益項目	日医リース(日医) MUL持分割合: 100%		神鋼リース(神鋼) MUL持分割合: 80%	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	30,200	+9.9%	32,664	-2.7%
売上総利益	3,277	+25.7%	2,410	-4.8%
営業利益	1,115	+97.0%	628	+463.5%
経常利益	1,112	+90.7%	602	+418.4%
純利益	651	+67.8%	223	+36.2%
資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	90,300	+9.6%	108,293	-2.3%
総資産	93,152	+9.3%	116,848	-0.9%
純資産	8,213	+8.3%	5,369	+3.7%

損益項目	カシオリース(CL) MUL持分割合: 80%		ひろぎんリース(HL) MUL持分割合: 80%	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	19,101	-0.9%	23,860	-12.4%
売上総利益	1,715	+23.2%	2,362	-0.0%
営業利益	799	+155.5%	939	-
経常利益	802	+154.0%	1,195	-
純利益	519	+126.1%	1,115	-
資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	39,654	-11.4%	61,884	-7.9%
総資産	40,586	-11.7%	65,053	-8.1%
純資産	9,314	+5.9%	6,032	+22.7%

金額単位:百万円

損益項目	首都圏リース(首都圏) MUL持分割合:76%		中京総合リース(中京) MUL持分割合:70%	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	26,692	-4.5%	7,739	-5.2%
売上総利益	4,757	+31.4%	882	+2.9%
営業利益	1,858	+371.2%	71	-71.0%
経常利益	1,886	+363.3%	76	-68.3%
純利益	1,252	+394.8%	86	-48.1%
資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	99,527	-9.5%	18,239	-5.0%
総資産	102,894	-11.2%	19,051	-4.7%
純資産	8,258	+17.8%	4,423	+2.1%

損益項目	MMCダイヤモンドファイナンス(MDF) MUL持分割合:50%		ダイヤモンドレンタルシステム(DRS) MUL持分割合:100%	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	16,138	-9.5%	24,627	+7.7%
売上総利益	5,875	+16.3%	2,355	-8.9%
営業利益	609	+35.1%	395	-48.7%
経常利益	610	+38.0%	399	-51.9%
純利益	404	+59.3%	240	-45.4%
資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	185,441	+20.8%	50,669	-1.3%
総資産	194,848	+22.5%	53,220	-1.1%
純資産	10,863	+3.9%	3,256	+8.0%

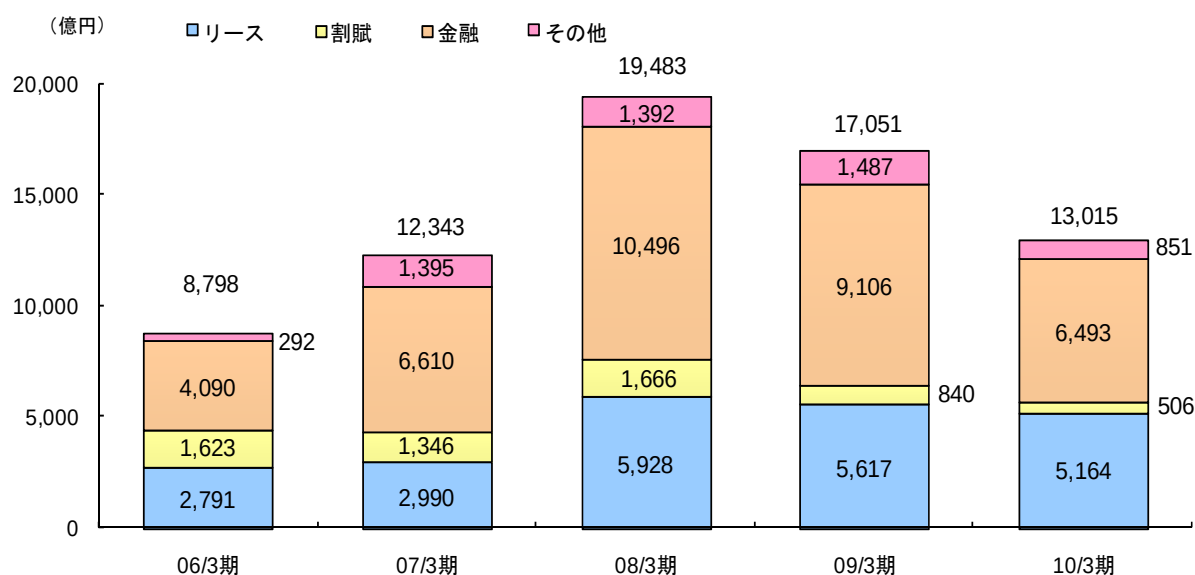
損益項目	ダイヤモンドアセットファイナンス(DAF) MUL持分割合:100%		御幸ビルディング(御幸ビル)※ MUL持分割合:97%	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	13,038	+25.0%	4,813	-
売上総利益	4,167	-14.8%	2,386	-
営業利益	-1,101	-	2,018	-
経常利益	-1,028	-	1,668	-
純利益	-4,086	-	979	-
資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	154,755	+13.0%	52,511	-
総資産	168,247	+6.4%	56,204	-
純資産	10,318	-28.4%	16,490	-

※2009年7月から2010年3月までの9ヶ月実績

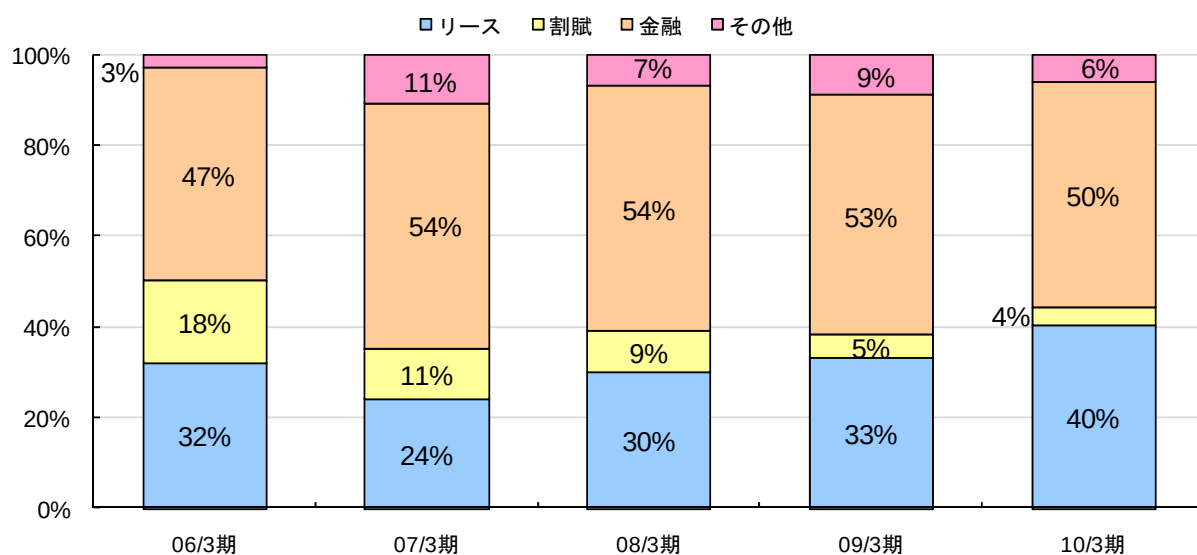
6. 営業状況（契約実行高）

- 2010年3月期の契約実行高は、前期比23.7%減少の13,015億円を計上。取引種類の内訳は、リース取引が8.1%減少、割賦取引が39.7%減少、金融・その他取引が30.7%減少となりました。
- 取引種類別構成比は、リース40%、割賦4%、金融・その他56%。

取引種類別契約実行高（元本ベース）の推移



取引種類別契約実行高の構成比



2010年3月期の契約実行高の内訳は以下のとおりです。

リース契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2009/3期	2010/3期	前期比
情報関連・事務用機器	1,679	1,381	-17.7%
産業・工作機械	1,247	1,413	+13.3%
土木建設機械	239	183	-23.2%
輸送用機械	374	264	-29.2%
医療機器	442	409	-7.4%
商業用およびサービス機器	611	568	-7.0%
その他	1,023	941	-8.0%
合計	5,617	5,164	-8.1%

社団法人リース事業協会発表の2009年度リース取扱高は4兆9,173億円（前期比19.0%減少）（4月27日付リース統計速報）

割賦契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2009/3期	2010/3期	前期比
情報関連・事務用機器	27	16	-40.9%
産業・工作機械	131	71	-45.4%
土木建設機械	125	64	-48.6%
輸送用機械	64	26	-58.9%
医療機器	69	59	-13.2%
商業用およびサービス機器	93	98	+5.0%
その他	329	169	-48.5%
合計	840	506	-39.7%

金融・その他契約実行高 内訳

(単位:億円)

	2009/3期	2010/3期	前期比
ファクタリング	3,354	2,825	-15.8%
不動産関連	3,976	2,019	-49.2%
その他融資等	3,262	2,500	-23.4%
合計	10,593	7,344	-30.7%

契約実行高 合計（リース、割賦、金融、その他）

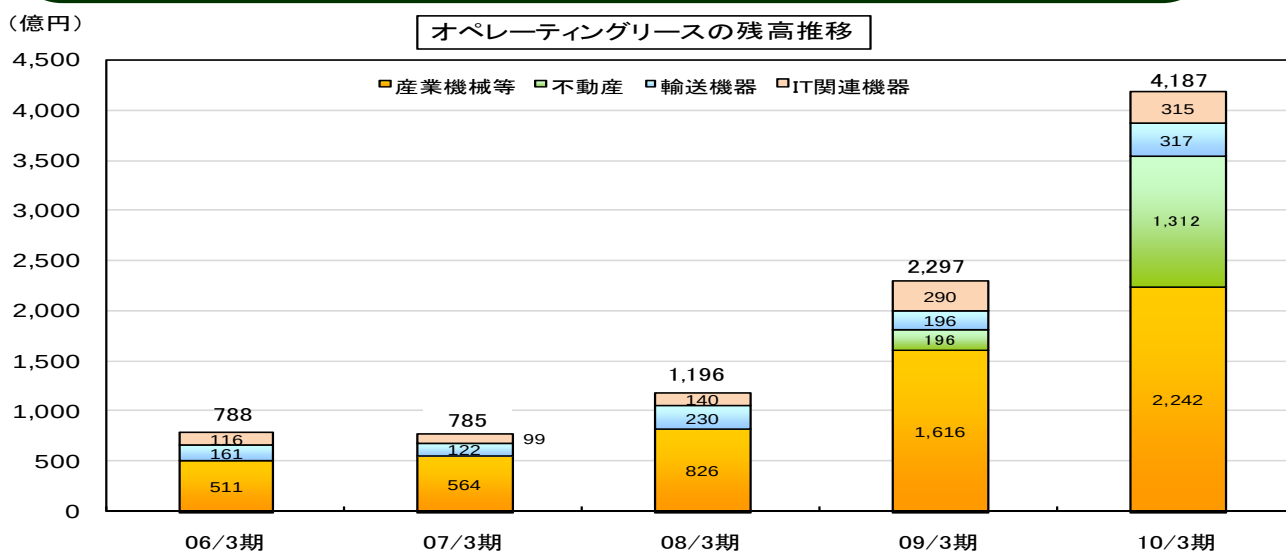
(単位:億円)

	2009/3期	2010/3期	前期比
合計	17,051	13,015	-23.7%

7. 営業の取組み

(1) リース オペレーティングリース

- ▶ 物件価値に着目しリース期間満了後の残価を設定するオペレーティングリース取引では、産業工作機械や輸送機器、PC レンタル等、幅広い物件を取扱っています。
- ▶ 産業工作機械の取り扱いが大きく増加したほか、子会社化した御幸ビルディングが保有する賃貸用不動産も加わり、オペレーティングリースの残高は順調に伸びています。



(2) その他 中古機器の在庫販売

- ▶ リースビジネスで培った経験とノウハウを活用して、半導体関連設備・工作機械・医療機器・情報関連機器等の中古機器売買業務を展開しています。タイムリーに設備を導入したい、安全な中古機器を導入したい、というお客様のニーズにお応えしています。

～三菱 UFJ リースグループの中古機器販売ネットワーク～



エム・キャストのショールーム
(写真上)

中古医療機器の販売・買取を行う業界トップクラスの専門商社。業界で初めてISO9001を取得するなど、品質管理を徹底し、安全性の高い機器を提供しています。

ユーマシンの自社倉庫 (写真下)
中古工作機械・産業機械の仕入販売を行う専門商社。国内3ヶ所に自社倉庫を持ち、年間約7千台の仕入・販売を行っています。長年蓄積したノウハウを活かし、仕入れた商品を最適な状態にメンテナンスすることで、お客様に高品質な物件をご提供しています。



MULエコビジネスのPCヤード
(写真上)

リースアップしたPCやOA機器など年間約28万台を仕入れ、データ消去処理などを施した上で、リース・リサイクルを行っています。

**ダイヤモンドイクイップメントが
出展したセミコンジャパン2009**
(写真下)

米国の中古半導体製造装置の大手商社TLCイクイップメント社と業務提携し、海外での仕入・販売を行うなど、積極的に事業展開しています。

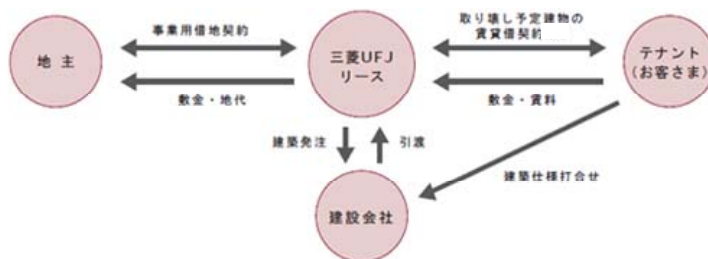


(3) リース シンフォニー

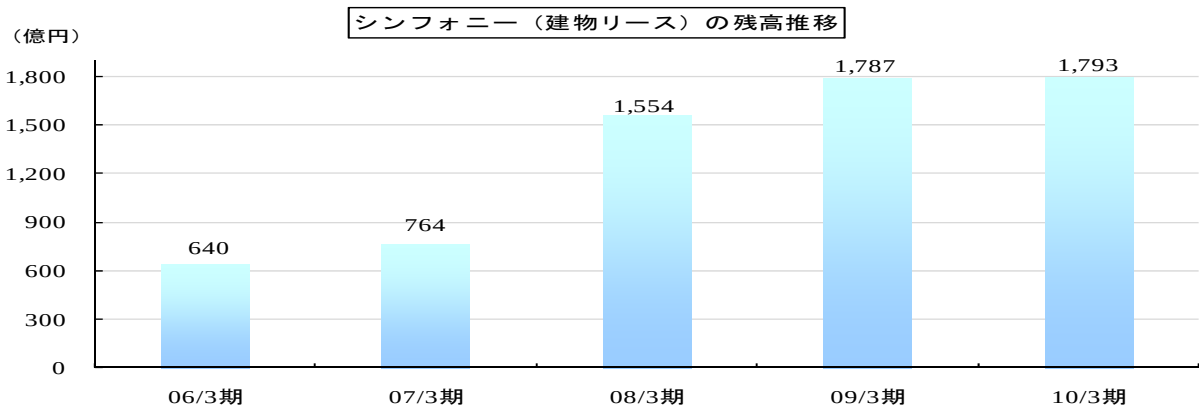
▶ 事業用借地権を利用した建物賃貸借取引「シンフォニー」において、当社は大規模なショッピングモールや複合型商業施設を始め、物流施設やショールーム等、様々な建物を取組んでおり、テナント、デベロッパー、地主の皆様からご好評頂いています。

<スキーム>

<主なメリット>



- ✓ 初期投資が軽減
- ✓ キャッシュフロー負担の軽減
- ✓ コスト把握が容易
- ✓ 複数の土地オーナーとの交渉が容易
- ✓ 建物の所有に伴う管理事務の簡素化



<当期に実行した代表的なシンフォニー案件>

アクロスプラザ長岡（複合商業施設）

- ◇ 所在地：新潟県長岡市
- ◇ 営業開始：2010年3月19日
- ◇ 事業規模：約26億円
- ◇ 敷地面積：51,184 m²
- ◇ テナント数：32店
- ◇ 主なテナント：大手衣料小売店、総合スーパー、レンタルCD/DVDショップ等



アクロスプラザ長岡

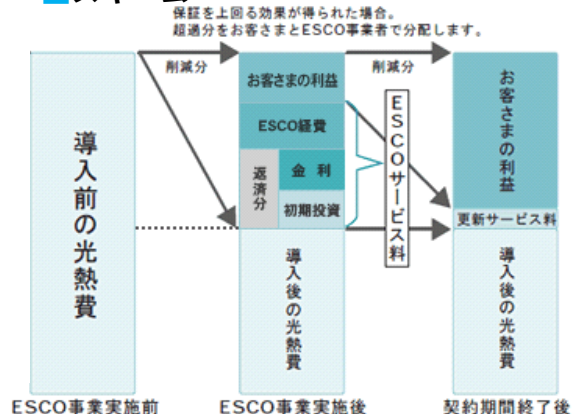
このほかにも、物流倉庫、飲食チェーン店、事務所、ショールーム、家電量販店など様々な建物のリースを行っています。



(4) リース E S C O (Energy Service Company) 事業

- ビルや工場、ホテル、病院などの施設を丸ごとで請負い、技術、設備、ファイナンスに加え、省エネ化の実現をパッケージでサポートする当社の E S C O 事業は順調に実績を伸ばしています。
- これまでの取扱件数は累計で 363 件と、全ての E S C O 事業者の中でもトップクラスの実績となっています。

■ スキーム



■ 業務フロー



■ 主な実施事例



名古屋大学附属病院がある
鶴舞キャンパス

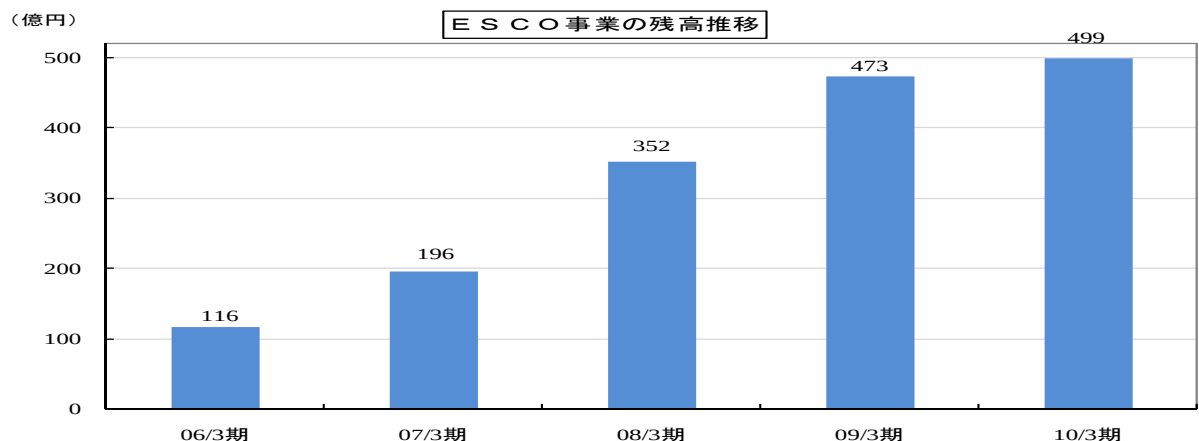
写真左は、今年 4 月に E S C O 事業を導入された名古屋大学附属病院。E S C O 事業の導入により、省エネルギー率 20.6%、CO₂ 排出量 21.0% (約 7,000 t) 削減 (2007 年度比) を目標としています。

この他にも、ビル・工場・ホテルなどを中心に、幅広い施設において当社の E S C O 事業が導入されています。



ESCO事業を導入された千代田化工建設株式会社様の本社社屋に設置されたガスヒートポンプ空調機

< 実績推移 >



(5) リース 排出権関連ビジネス

- ▶ 地球温暖化問題へのソリューションとして、リースする物件に排出権を割当てリース物件から生ずる CO₂ を相殺する「カーボンナチュラルリース」や、お客様に代わって、排出権の購入から償却に至るまでの手続きを受託する「オフセットパートナーサービス」などのご提供を通じて、お客様の環境への取組みをサポートしています。
- ▶ 昨年度から本格的に取扱いを開始し、2010 年 3 月末までに契約件数 1,382 件、排出権割当量 8,787 トンの実績となっています。

○カーボンナチュラルリース

排出権の仕組みを利用し、お客様にリースする物件に当社が保有・調達した排出権を割当て、リース期間を通じて物件から生じる CO₂ の全部または一部を相殺するリーススキームです。

当リースをご活用頂くことで、お客様が使用するリース物件の CO₂ 排出量をゼロとみなすことも可能です。

○オフセットパートナーサービス

排出権の利用を検討されているお客様に対し当社がお客様に代わって排出権の調達から管理、政府口座への償却に至るまでの手続きを一括で受託するサービスです。お客様は排出権の保有など煩雑な事務手続きを行うことなく、その効果を利用することができます。当社のオフセットパートナーサービスは、業種を問わずご好評頂いています。



<主な実施事例>

	オフセットの対象
オフセットパートナーサービス	ウォーキングイベント 駅伝(全日本大学駅伝) 国際航空貨物 寝具販売 通販
カーボンナチュラルリース	産業機械 自動販売機 食品製造設備 空調機

主な導入例



主な導入例



(6) リース **e-Leasing Direct**

▶ 1999 年より業界に先駆けて提供している Web リース取引サービス。当社独自のサービス：**e-Leasing Direct** では、契約から満了までの一連の手続きを Web 上で行うことができ、また、リース会計基準に対応した会計関連情報をお客様に迅速かつ無償でご提供いたします。さらに、**e-Leasing Direct** は J-SOX 対応にもご活用頂けることから、多くのお客様よりご好評を頂いています。

<導入実績事例>

業種	代表的な物件
多店舗展開する流通・飲食業	POSレジ 現金自動預け払い機
鉄道会社	自動改札機
飲料メーカー	自動販売機
製造業	金型
レンタル会社	レンタル物件

主なニーズ
✓資産管理業務のアウトソーシング
✓経理処理の簡素化
✓J-SOX・内部統制の強化

<具体事例>

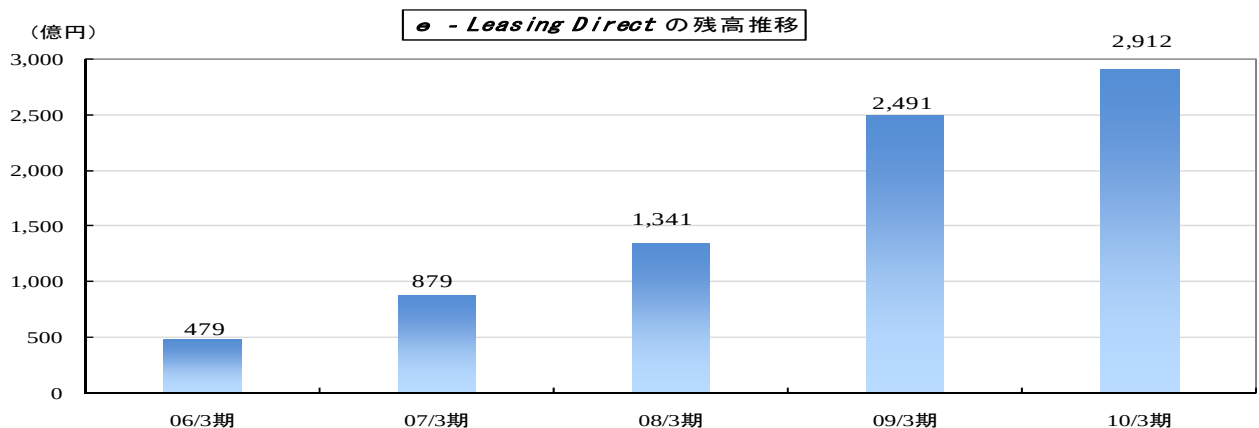
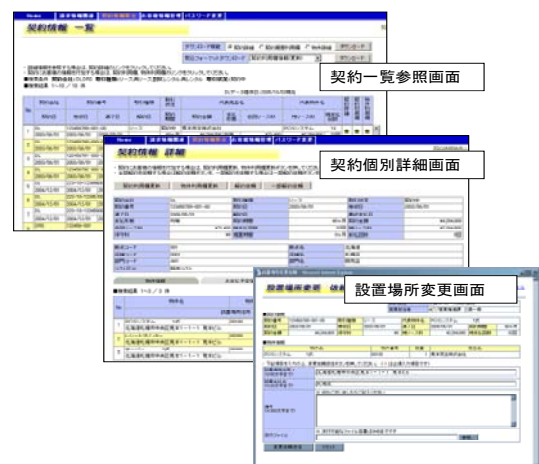


自動改札機 (近畿日本鉄道様)



自動販売機 (ダイドードリンコ様)

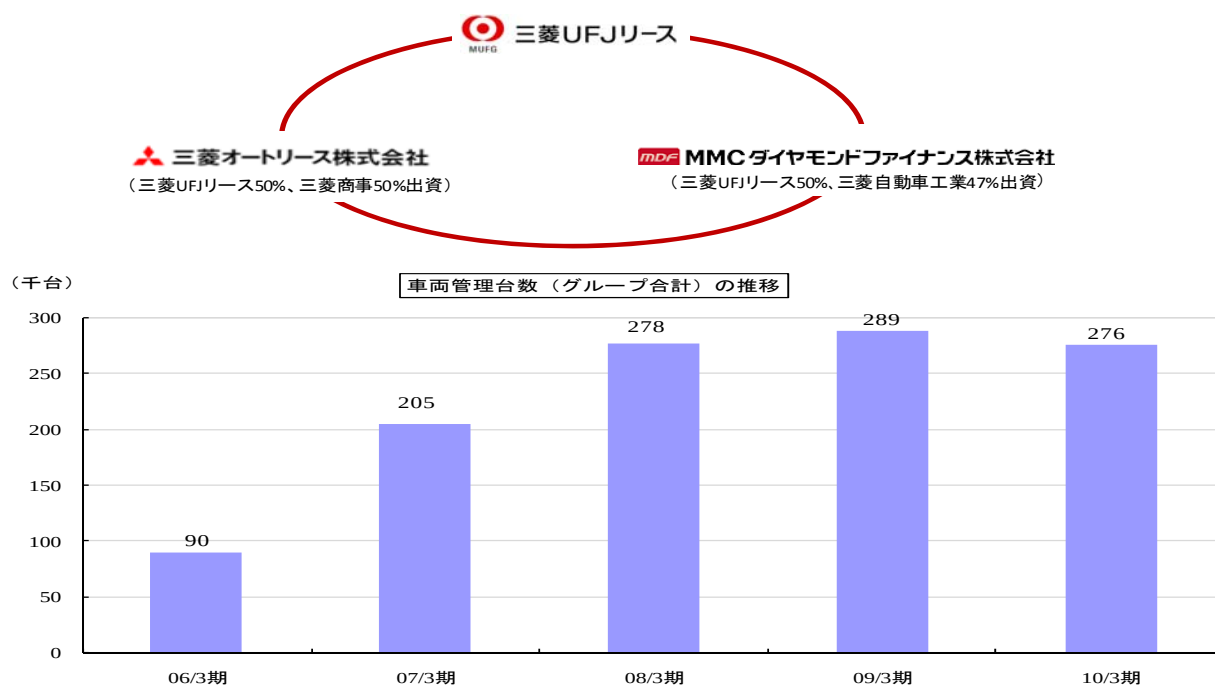
<画面イメージ>



(7) リース オートリース

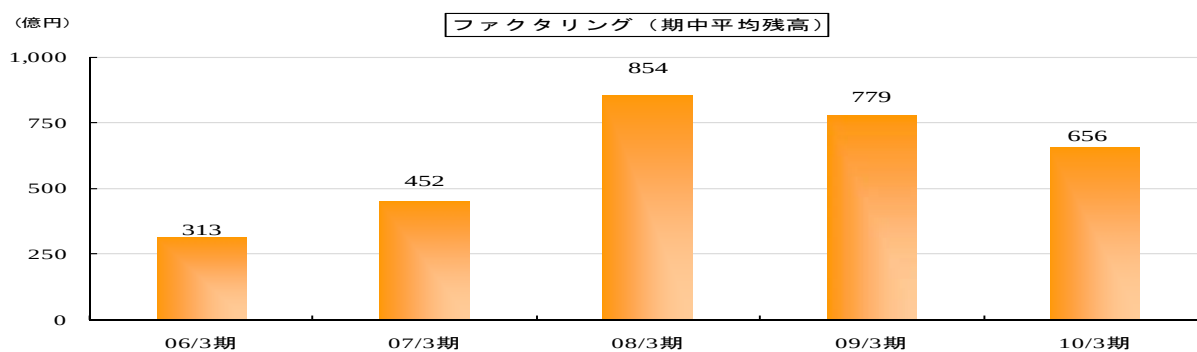
➤ オートリース事業を行う三菱オートリース（三菱UFJリース50%、三菱商事50%出資）、オートクレジット事業を行うMMCダイヤモンドフィナンサー（三菱UFJリース50%、三菱自動車工業47%出資）をグループ会社擁し、オートファイナンス分野において一層のサービス向上・強化を図っています。2010年3月末現在、グループ全体の車両管理台数は約276千台となっています。

＜三菱UFJリースグループのオートファイナンス＞



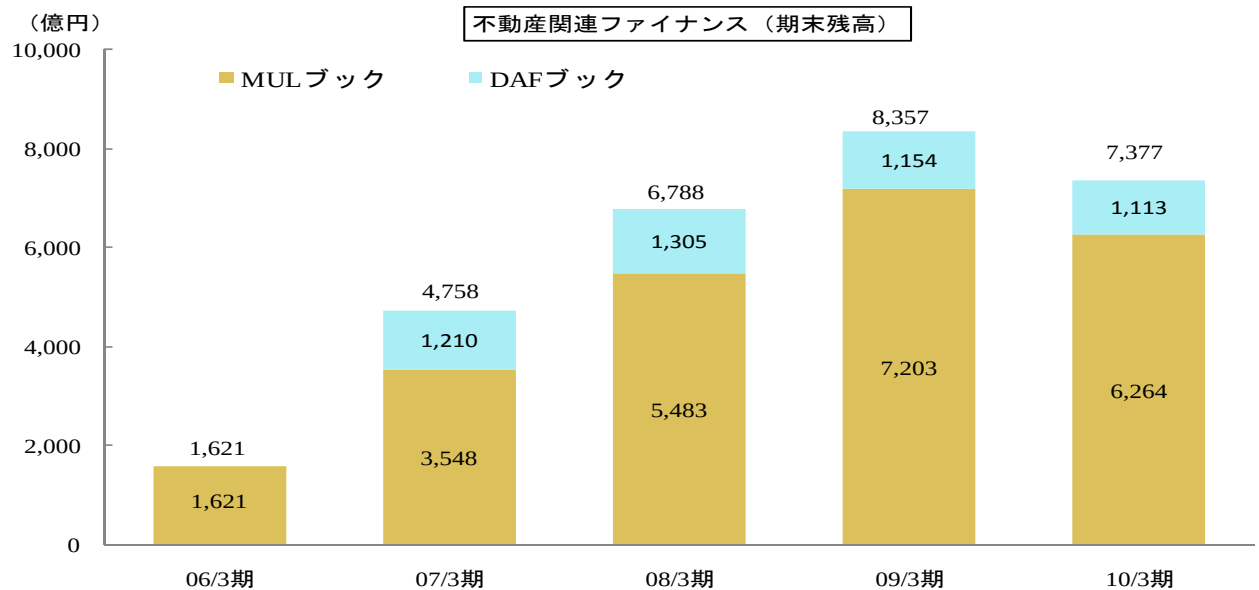
(8) 金融 ファクタリング

➤ 小口大量債権の処理にも適応した専用システムを駆使して、主に売掛債権、診療報酬債権を対象にしたお客様の資金ニーズに対応しています。

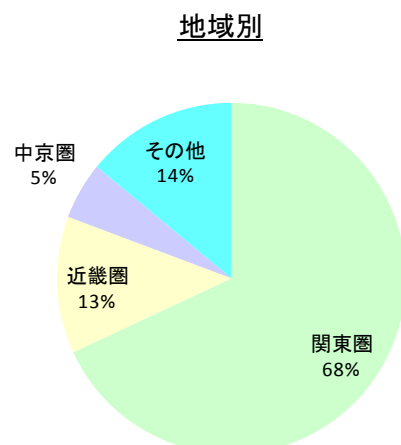
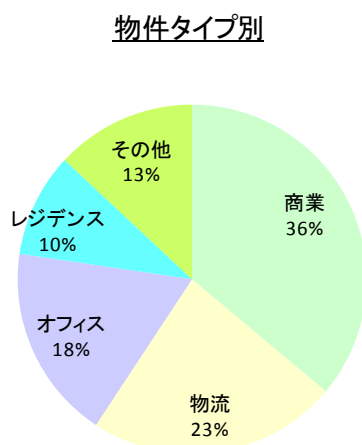


(9) 金融 不動産関連ファイナンス

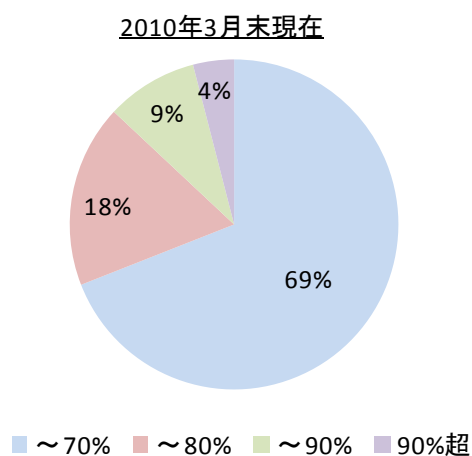
- 主に商業用、物流用、オフィス用を対象とした不動産関連ファイナンス。
- 対象不動産からの収益力を評価して実行するノンリコースローンを中心に、様々なスキームに取り組んでいます。
- 不動産流動化案件については、厳格なリスク管理の下、主として信用力の高い大手不動産会社等が組成する案件を選別して取り組んでいます。



1. MUL ブック案件内訳（2010 年 3 月末現在）



2. LTV 分布推移 (MUL ブック)

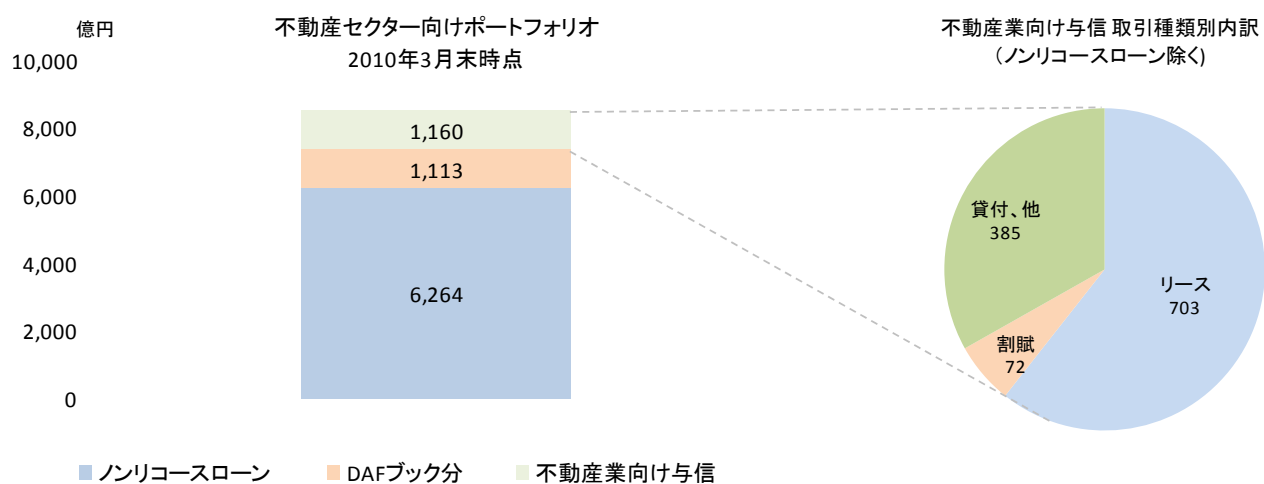


3. 開発型・開発型以外の比率 (MUL ブック)

(単位: 億円)

	開発型	開発型以外	合計
2010/3末残高	562	5,702	6,264
割合	9%	91%	100%

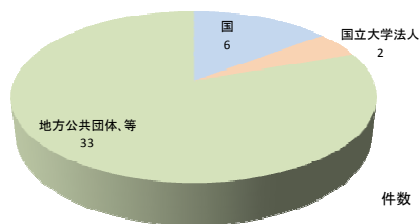
4. 不動産セクター向けポートフォリオ



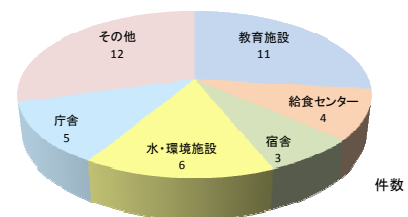
(10) 金融 P F I （Private Finance Initiative）事業

- 民間の資金・経営ノウハウを活用し、効率的・効果的な社会資本整備・公共サービスを実現するPFIにおいて、当社は単なるファイナンス機能の提供に留まらず、代表企業としてPFI事業のアレンジや出資を伴う事業参加も積極的に行っています。
- これまで当社は、累計で41件を受注し、うち13件は代表企業として取組んでおり、すべてのPFI事業者の中でもトップクラスの実績を誇っています。

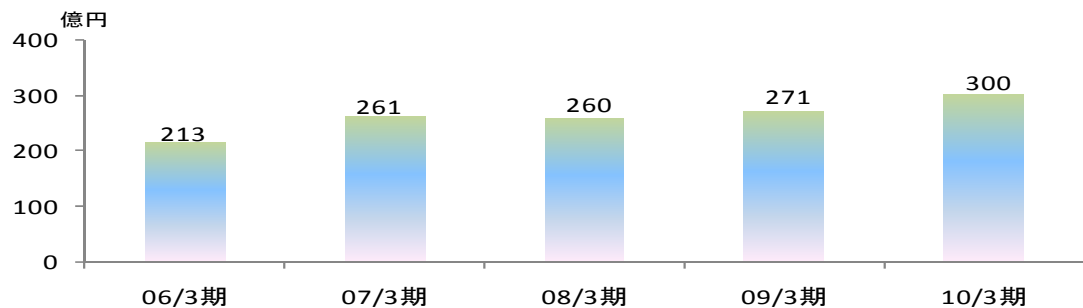
<発注者別 PFI 事業内訳>



<施設種類別 PFI 事業内訳>



<PFI 事業における営業資産残高の推移>



<最近の取組実績>

時 期	名 称	事業規模
2008年4月	銚子市立銚子高等学校施設整備等事業 (千葉県銚子市)	約60億円
2008年7月	(仮称) 仙台市新高砂学校給食センター整備事業 (宮城県仙台市)	約105億円
2008年12月	横浜市水道局川井浄水場再整備事業 (神奈川県横浜市)	約265億円
2009年1月	(仮称) 名取市新学校給食共同調理場整備等事業 (宮城県名取市)	約68億円
2009年2月	公務員牛田住宅 (第1期) 整備事業 (広島県広島市)	約81億円
2009年7月	(仮称) 南千里駅前公共公益施設整備事業 (大阪府吹田市)	約86億円
2009年10月	(仮称) 浦安市千鳥学校給食センター第三調理場整備事業 (千葉県浦安市)	約57億円
2009年12月	北総浄水場排水処理施設設備更新等事業 (千葉県印西市)	約76億円
2010年1月	東雲合同庁舎 (仮称) 整備等事業 (東京都江東区)	約120億円
2010年2月	戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う公益施設整備事業 (神奈川県横浜市)	約170億円



戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業
(事業規模: 約170億円)



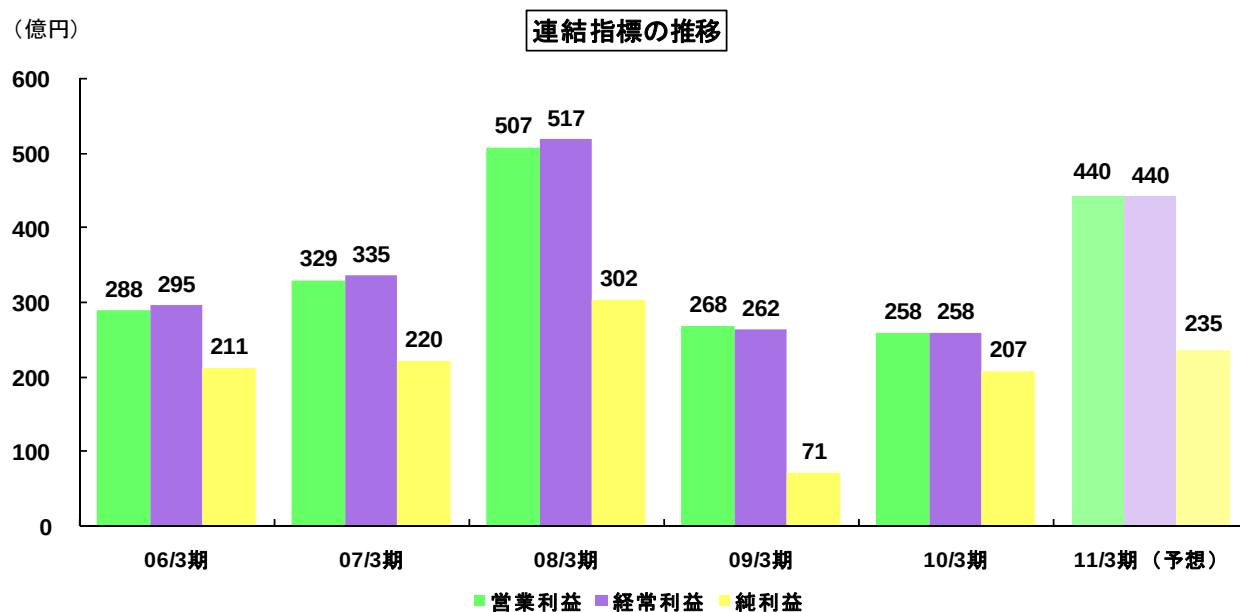
南千里駅前公共公益施設整備事業
(事業規模: 約86億円)

8. 2011 年 3 月期決算予想

2011 年 3 月期決算（予想）

	連結	
	金額(億円)	増減率
売上高	7,400	-0.9%
売上総利益	1,100	+0.4%
営業利益	440	+70.5%
経常利益	440	+70.4%
純利益	235	+13.4%
一株当たり配当金	50 円	+2 円

上記数値は 2010 年 5 月 12 日時点での 2011 年 3 月期決算予想です。



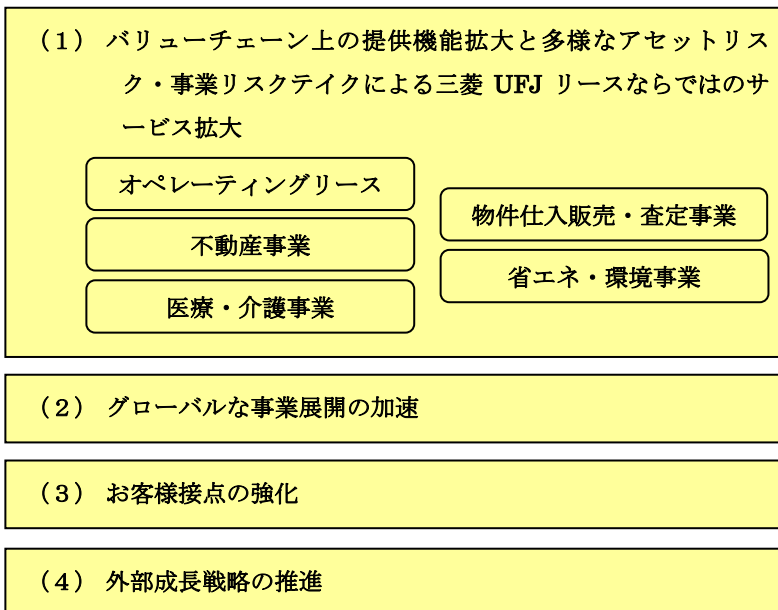
配当推移

	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期 (予想)
一株当たり配当金 (円)	36	40	42	46	48	50
一株当たり純利益 (円)	370	387	377	80	231	262

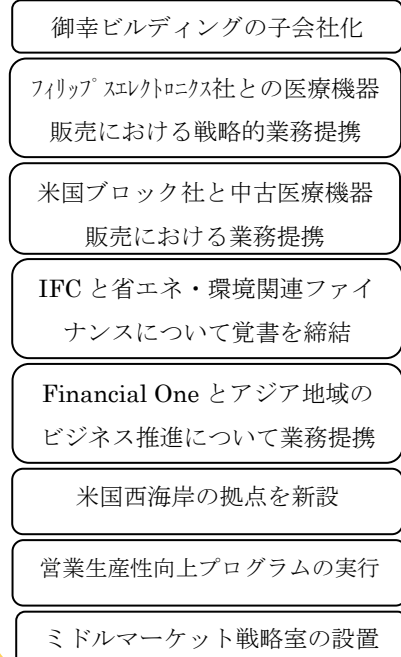
9. 中期経営計画における施策・戦略の実施状況

1. これまでの取組み

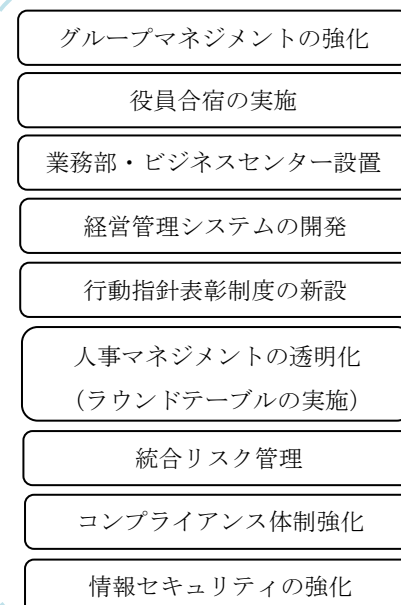
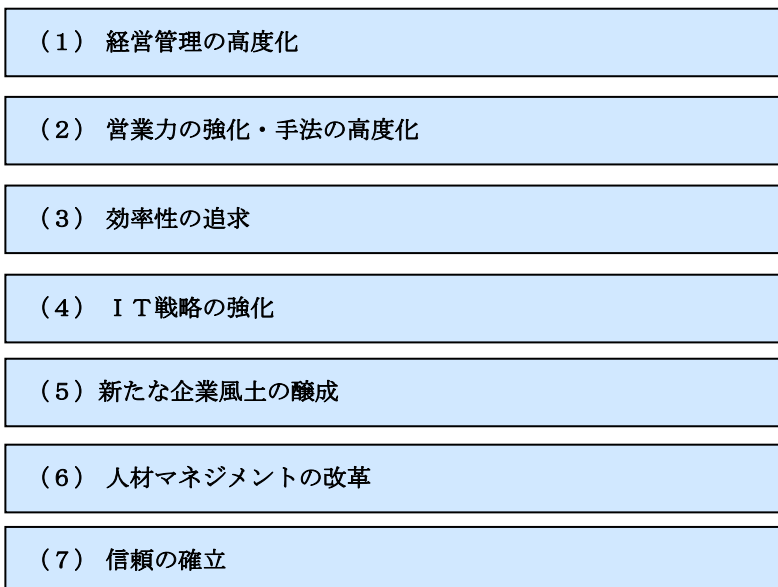
➤ 成長戦略



具体的な施策・打ち手



➤ 経営基盤強化戦略



2. これからの取組み

戦略の加速・推進

●既存事業の強化

コア事業（リース・割賦）の再強化

営業現場の業務改善

●成長事業の加速化

環境事業

国際事業

資産管理事業

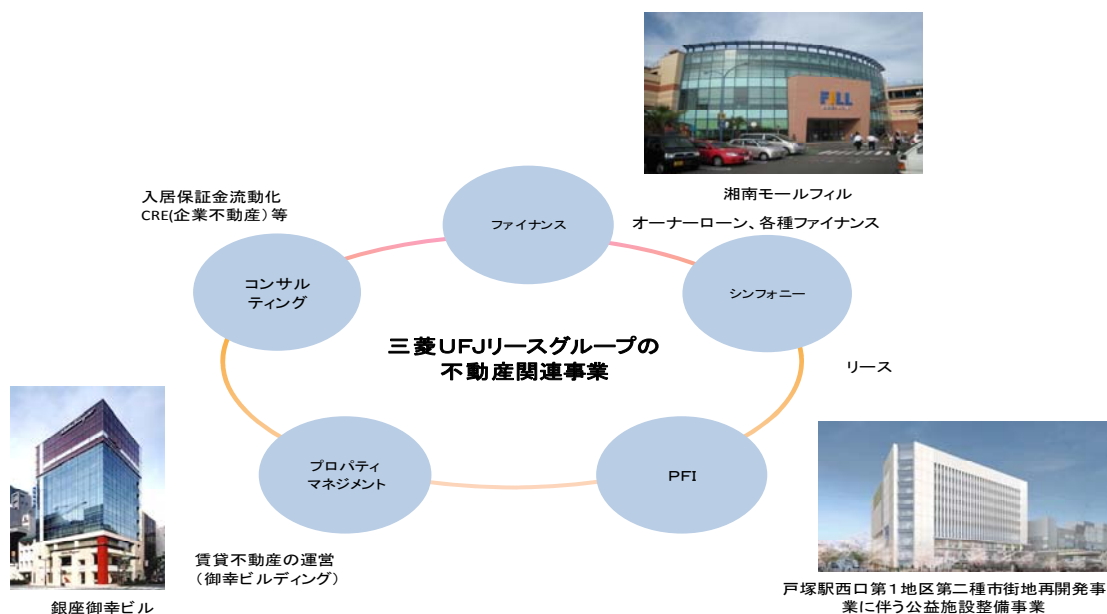
アセットファイナンス事業

3. 主な施策の紹介

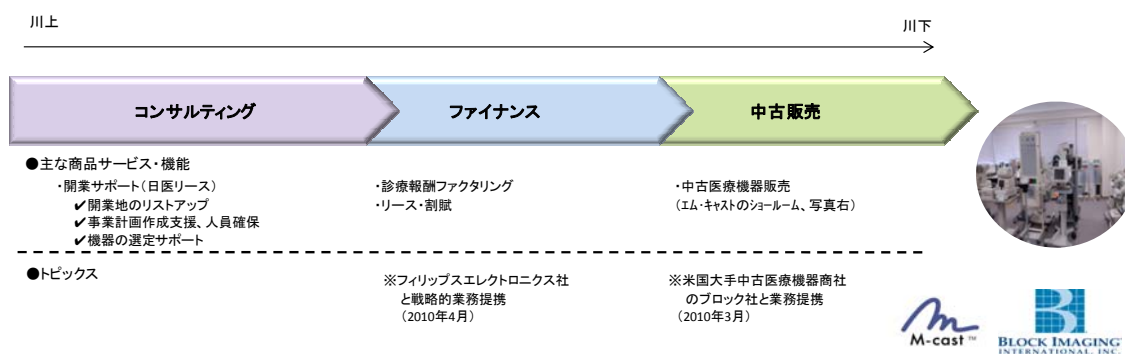
(1) 広がるバリューチェーン

- 当社は、社内外の価値を統合することで、バリューチェーン上の提供機能を拡大し、お客様にとって最適なソリューションをご提供しています。当社のバリューチェーンは、不動産、医療、環境など様々な事業分野で拡大しています。

●不動産関連事業のバリューチェーン



●医療関連事業のバリューチェーン



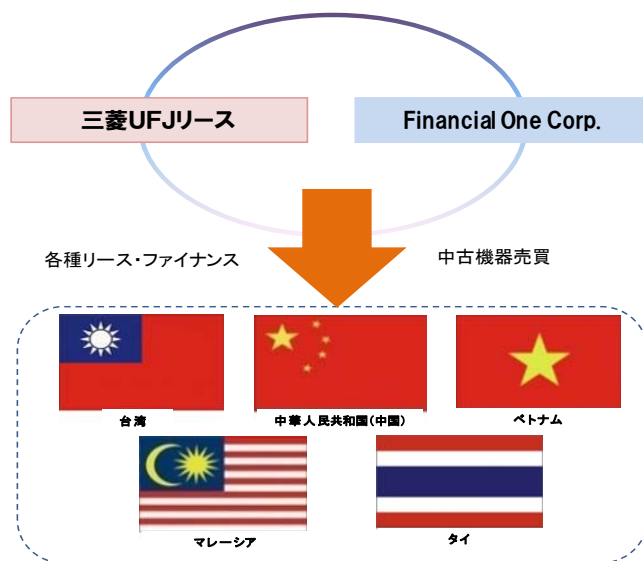
●設備投資のバリューチェーン



(2) グローバルな事業展開の加速

① Financial One Corp.との業務提携

- 今年1月、台湾最大手リース会社であるChailease Finance Co., LTD.を中心に、中国、タイ、ベトナムでリース・ファイナンス事業を展開するFinancial One Corp.と、アジア地域でのリース・ファイナンスビジネス、中古資産の売買ビジネス、アレンジャービジネスをはじめとした複数のビジネスについて協働で推進していくことを目的とした業務提携を締結いたしました。



Financial One Corp. の概要

商号: Financial One Corp.
 上場証券取引所: シンガポール証券取引所
 代表者: 辜 仲立 Andre J.L. Koo
 主な財務諸表: 売上高 USD244,768千
 (2008年度) 総資産 USD2,725,988千
 純資産 USD450,411千
 主な子会社: (台湾) Chailease Finance Co., LTD.
 (中国) Chailease International Finance Co.
 (ベトナム) Chailease International Leasing Co., LTD.

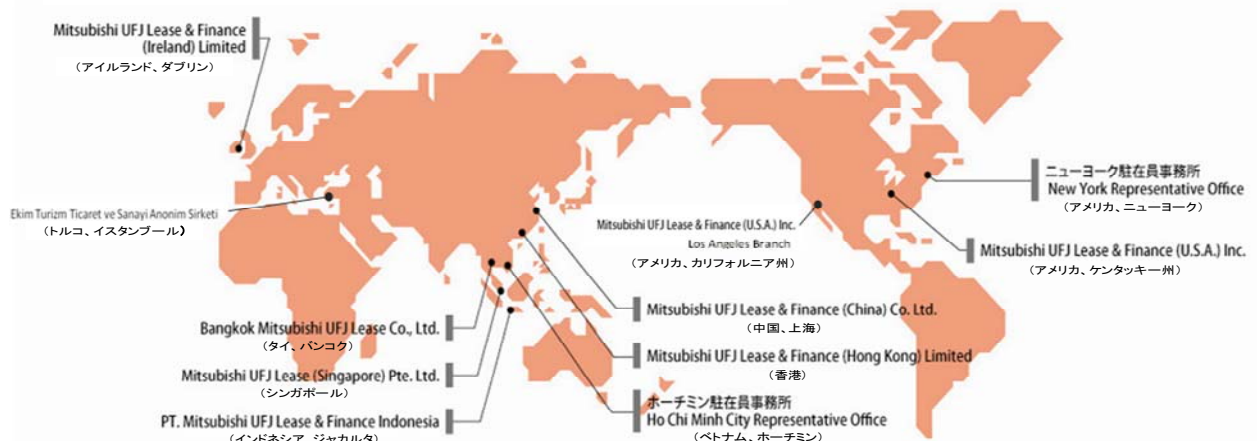


調印式の様子
写真右がFinancial One Corp.の辜(クー)会長

② 米国西海岸に営業拠点を新設

- 今年1月、米国カリフォルニア州ロサンゼルス郊外のトーランス市に営業拠点を新設しました。同拠点から、米国西海岸に進出しているお客様のニーズに従来以上に迅速かつきめ細かく対応していきます。

●三菱UFJリースのグローバルネットワーク



10. ニュースリリース

昨年4月以降に行った主なリリースは以下の通りです。詳細につきましては、当社ホームページ「新着情報」をあわせてご参照いただきますようお願い申し上げます。

主なリリース (当社ホームページアドレス:<http://www.lf.mufig.jp/>)

リリース日	リリース内容
09.06.03	【財務】第6回無担保普通社債を発行 三菱UFJリース第6回無担保普通社債 450 億円を発行することといたしました。利率:1.28%(3 年)
09.07.22	【M&A】株式会社御幸ビルディングの株式取得(子会社化) オフィスビル等の不動産賃貸業を行う株式会社御幸ビルディングの株式を取得し、子会社化いたしました。
09.07.24	【営業】カーボン・オフセット認証制度による初めての認証を取得 当社がサービスを提供したカーボンオフセットの取組みが、今年4月30日に施行されたカーボン・オフセット認証制度の第1回認証委員会において、初めての認証を取得いたしました。
09.08.27	【国際・環境】アジアにおける省エネ・環境関連ファイナンスについて国際金融公社と覚書を締結 世界銀行グループの国際金融公社との間で、アジア地域の発展途上国における省エネルギー、再生エネルギー、クリーン技術等に関するファイナンス事業での協働促進に関する覚書を締結いたしました。
09.08.28	【財務】第7回無担保普通社債を発行 三菱UFJリース第7回無担保普通社債 250 億円を発行することといたしました。利率:1.11%(4 年)
09.09.28	【全般】株式報酬型ストックオプション(新株予約権)の導入 当社取締役及び当社執行役員に対して、株式報酬型ストックオプションとして2009年10月15日を割当日として新株予約権を発行することといたしました。
09.10.09	【営業】MUL プリンシパル・インベストメンツによる株式会社たらみの株式 100%取得 当社のプライベート・エクイティ投資子会社 MUL プリンシパル・インベストメンツが、ドライフルーツゼリー市場で国内トップシェアの株式会社たらみの株式を 100%取得いたしました。
09.10.22	【営業】業界初フォークリフトの CO2 排出権付きリースをスタート 三菱重工業および日本輸送機製フォークリフトを対象とした CO2 排出権付きリースの取扱いを開始しました。
09.11.26	【財務】第8回無担保普通社債を発行 三菱UFJリース第8回無担保普通社債 300 億円を発行することといたしました。利率:0.82%(3 年)
09.12.02	【システム】マイクロソフトのプラットフォームを採用し、営業支援システムおよび全社情報共有基盤を刷新 マイクロソフト株式会社の営業支援システムMicrosoft® Dynamics® CRMを導入し、営業支援システムおよび全社情報共有基盤を刷新いたしました。
10.01.12	【国際】アジア地域におけるビジネス展開についてアジア大手金融グループ”Financial One Corp”と業務提携 台湾最大手リース会社である Chailease Finance Co., Ltd.を中心に中国、タイ、ベトナムでリース・ファイナンス事業を展開する Financial One Corp.とアジア地域(特に中国、台湾、ベトナム)でのリース・ファイナンスビジネス、中古資産の売買ビジネス、アレンジャービジネスを始めとする複数のビジネスについて協働で推進していく事を目的とした業務提携に合意いたしました。
10.01.14	【国際】米国西海岸に営業拠点を開設 米国カリフォルニア州ロサンゼルス郊外のトーランス市に当社 100%子会社である Mitsubishi UFJ Lease & Finance (U.S.A.) Inc.の支店を開設いたしました。
10.03.03	【営業】「戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う公益施設整備事業」を落札 当社を代表企業とするコンソーシアムは、横浜市による PFI 事業である「戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う公益施設整備事業」における落札者に選定されました。
10.03.04	【財務】第9回無担保普通社債を発行 三菱UFJリース第9回無担保普通社債 200 億円を発行することといたしました。利率:0.72%(4 年)
10.03.17	【国際・医療】中古医療機器販売についてグループ会社が米国大手中古医療機器商社と業務提携 米国の大手中古医療機器商社である Block Imaging International, Inc.と中古医療機器の販路拡大を目的とした業務提携契約を締結いたしました。



Mitsubishi UFJ Lease & Finance

Value Integrator